



園だより

～きづき～

キ3園 第19号

2025年6月号

キッドワールドサード保育園

園長 是永 妃富

初夏の気持ちがいい季節ですが、梅雨が近づいてきています。園の入り口で育てているミニトマトは活きよい良く育っています。梅雨と言うと沈みがちな気持ちになりますが、恵の雨ととらえ、室内遊びを工夫して、元気に過ごしていきたいと思ひます。

今月、「大地震・大津波」を想定した、避難訓を予定しています。もしもの時は、慌てることなく、みんなの命を守る行動がとれるよう気を引き締めて訓練に取り組んでいます。



6月行事予定

2日(月) 歯科検診

3日(火) 地震 水害避難訓

10日(火) 身体計測

19日(木) 健康診断

歯科検診は年2回あります。

今年度から{しんろう} 歯科の先生が検診にみえてくれます。

なるべく欠席のないようにお願い致します。

お弁当日は 6/21(土)です

お弁当と食具を持たせてください。

おやつと飲み物は園で準備いたします。



毎朝の体操は大喜び！まだする～とアンコールをします。😊



・汗ばむ日が多くなります。衛生面には、お気をつけください。(手洗い・入浴・着替えは行いましょう)

・園の駐車場では、エンジンを切ったの送迎をお願い致します。

・発熱・嘔吐・下痢でぐったりしている、いつもと様子が違う時は電話連絡を入れさせていただきます

・汗をかいた時にはシャワーをかけることがあります。身体を拭ける大きさのタオルを1枚お子さんのロッカーに入れてくださるようお願い致します。

5月子どもたちの様子



先月は発熱のお子さんが多くみられました。

季節の代わり目で体温調節がうまくいかなかったのでしょうか。鼻水、咳が続いている姿があります。休日に遊びに出かけることが多いかもしれませんが、少し早めの帰宅で、月曜日は、元気に当園できるようにしましょう。

週開けは疲れが残っているように感じます。

また、先月は片島児童公園まで行き、公園の広さを楽しみ、歩行もしっかりしてきました。





キッドエッセイ 68

総合園長 牧野桂一先生

今年度も牧野先生が、子どもの心理についてエッセイを書いてくれます。
共感したり、発見があったりします。読んでみてください。

キッドエッセイ 68

タッチケアと子育て



牧野 桂一先生

保護者支援の一環で行っている「子育て相談」の中で、よく話題に上る問題として「具体的な子どもとの関わりと支援」ということがあります。この中では、躰（しつけ）や遊びの問題をはじめ、特異な行動をする子どもや気になる子どもへの具体的な対応などについて現場で直面している課題について意見を交換していただきました。



ここで取り上げられた課題についての「具体的な子どもへの対応と支援」として、園で行われている子どもたちの遊びや子育て支援セミナーの中などで行われている楽しいゲームがいろいろ紹介されました。そして、それら中で、療育の場で行われているタッチケアや感覚統合遊びやなどが特に参加者の興味を引き、話が深まっていきました。なかでも特にタッチケアについては、私たちが日頃行っている子どもとの関わりにもよく似ているし、それが子どもたちにも有効であるというので、掘り下げた情報と意見の交換が行われました。そこで、今回は、この場を借りて皆さんにタッチケアのことについて一緒に考えてみたいと思います。



ここで話題に上ったタッチケアというのは、広い意味でいえば「小さな子どもと周りの大人との心と体が触れ合い」ということで、子どもと大人のきずなを深めるさまざまな活動のようです。そのように見てみると、我が国においても、昔から授乳やおんぶ、抱っこや肩車、「すきすき」や「たかいたかい」などのいわゆる体を通したスキンシップの習慣が大切にされてきたという歴史があります。これは、小さな子どもが健全に育っていくためには、親子の肌と肌が直接触れ合うタッチケアが大切であるということを経験的・感覚的に理解していたからだと思われます。



ここで紹介するタッチケアでは、小さな子どもと周りの大人が、見つめ合い、語りかけあいながら子どもにしっかり触れたり、なでたりして体に少し圧をかけながらマッサージのように体を揉みほぐしたり手足を曲げ伸ばしたりします。また、周りの大人が手指を使って子どもの体に触れたり擦ったりして肌に優しい刺激を伝えたりするのです。

子どもたちは、心地よく触れられることにより、脳に神経伝達物質のひとつであるオキシトシンがたくさん分泌されるといわれています。このオキシトシンは、ストレスホルモンの分泌を抑制しストレスを感じる時に分泌される脳内ホルモンの濃度を下げてくれます。また、逆に幸福感を感じ穏やかな気持ちにさせてくれるため、タッチケアを受けた後には、子どもたちの中に溜まっていたイライラが減少し、気分を落ち着かせてくれるというのです。つまりタッチケアにより、子どもたちは周りの環境によるストレスが減少し情緒が安定するのです。このような中で、穏やかで相手を思いやる気持ちが芽生え、人を信頼して交流することができ、親子の絆も深まっていきます。加えて、このタッチケアの効果は、受ける子どもたちだけではなく行う周りの大人にも同じような効果があります。

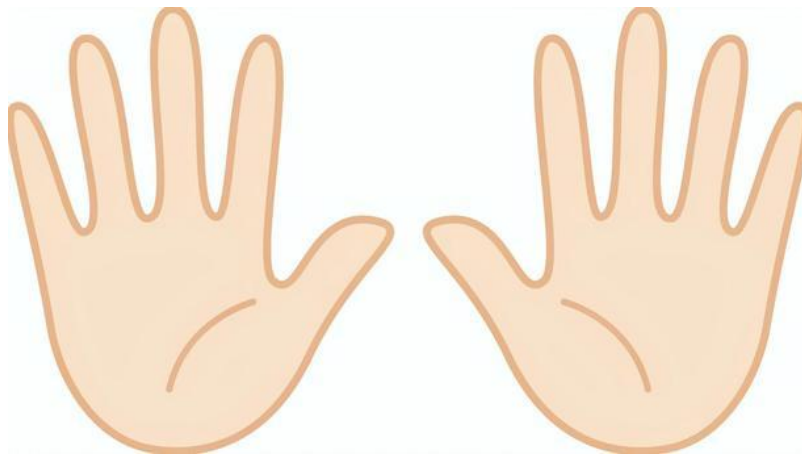


ここで紹介しているタッチケアは、子どもへのマッサージやスキンシップを通して、心と体を触れ合わせ、小さな子どもの成長・発達を促進する働きがあります。したがって、タッチケアを行うことで、子どもたちの情緒が安定し、ストレスが減少することなどができるのです。また、タッチケアは、小さな子どもだけでなく、多くの子どもたちへも同じような効果があるということが確認されています。🌸

このように、皮膚から伝わる優しい感触や心地良いと感じるように触れることより子どもが癒されるとともに、心身の健康維持増進を促しますので、つまずきのある子どもや気になる子どもへの具体的な支援などにも活用され、周りの大人との絆作りにも役立っています。また、その他にもタッチケアは、自律神経のバランスを整え免疫力を高め、心や体の不調を予防してくれる効果があるともいわれています。🌸

昔は当たり前のように行われていた親子のスキンシップも、現代社会の生活の中では極端に希薄になってきています。このような中、ストレスに弱い子やキレやすい子にさせないためにも、乳幼児期のタッチケアが必要であるということを理解して、日常の子どもとの関わりを工夫していくと「子育て」がこれまで以上に楽しいものになってくると思います。

今回は、タッチケアの概要と意義についての紹介で紙幅が尽きてしまいましたので、もう一歩突っ込んだ、「タッチケアと子どもの成長の関わり」や「タッチケアの具体的な方法」については、別の機会に紹介させていただきたいと思います。🌸



今回はタッチケアがいかに大切か知らせてくれています。

スキンシップをとるときは、まずはタッチからしてみましょ。タッチケアをすることで情緒の安定ストレス緩和になるとはすごいですね。

子どもたちが帰りに「タッチ」と言って職員の方に来てくれます。その時は私たちがほっこりした気持ちになります。